

住民が安心して住み続けられるための地域医療を！
地域医療を守る共同行動
みやぎ連絡会
News

2023.8.18.FRI No.150

発行／地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会事務局
〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町39-18 (民医労内)
TEL 022-782-0633／FAX 022-782-0634

精神障害者のくらしと医療を考える仙南ネットワーク
“県立精神医療センター富谷市移転は
これまで名取で培ってきた「にも包括」を崩壊させる！”
(※精神障害にも対応した地域包括ケアシステム)



8/9 (木) 精神障害者のくらしと医療を考える仙南ネットワークでは、7月23日に地元報道社による「東北労災病院、宮城県立精神医療センターの移転合築問題 9月にも基本合意締結か」報道を受け県への要請を行いました。仙南ネット8名が参加し、保健福祉副部長他3名が対応しました。仙南ネットが県に撤回を求める要望書を出すのは2度目。代表からは「県立精神医療センター富谷市移転は、これまで名取で培ってきた「にも包括」を崩壊させる！」と訴え、参加した精神医療ユーザーからも移転に伴う問題点などの指摘とともに、精神医療ユーザーに対する配慮に欠ける村井知事の発言についても指摘した意見が出されました。

また、翌10日には4病院再編統合・移転反対の署名簿4万8000筆を提出した地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会の要請活動が行われ、約5万人の署名を重く受け止め4病院再編構想の白紙撤回を求めました。代表からは「日本の医療制度の下では、黒字は難しい。合築、統合で展望が見出せるように言うのは欺瞞」と指摘し、救急医療についても「仙台市内は、一週間で1,000件が救急対応できていない状態。2病院が仙台市外に出て行くことの展望はあるのか？」という問われ、県「仙台市外からの受け入れも対応できるようにしていることも背景にある。」とのこれまでと同様の回答。参加した医療団体からも「具体的なものが示せていない状態での基本合意か？受療権の保障に対する意見を言う場がないのでは？」との意見が出されました。

2023年8月9日

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

精神障害者のくらしと医療を考える仙南ネットワーク

県立精神医療センターの富谷市移転の白紙撤回を求める要望書

さて、7月23日に地元報道社による「東北労災病院、宮城県立精神医療センターの移転合築問題 9月にも基本合意締結か」報道を受け、県立精神医療センター富谷市移転の白紙撤回を再度求めるものです。

県立精神医療センターは、旧名取病院以来、65年を越える歴史の中で徐々に偏見を克服しながら、現在の施設とネットワークがつくられ、精神医療センター職員と協力者によって、グループホームが県内では先駆けてつくられ、地域で支えるネットワークが、名取市を中心に県南各市町に拡大してきた歴史があります。

2月20日に取り交わされた日本赤十字社との「確認書」には新たに『精神外来機能について協議を進める』と明記されましたが、デイケアや訪問看護はなく外来機能を残すだけでは取り残される患者さんの問題解決にはなりません。患者さん達は慣れ親しんだ主治医に診てほしいのです。

精神疾患をお持ちの方は、ただ通院して診察を受け、服薬して治療を続ければ良いというわけではありません。

医療や福祉をはじめとした様々な方の関わりがあってこそ、一人ひとりが医療とのつながりを途切れさせることなく、地域生活を可能にするものです。なかには、地域での支援を受けながら、長い時間をかけて一人で通院できる力を取り戻していく方もいますが、富谷市への移転構想によって当事者の方々の症状や生活に不安をもたらしていることは大きな問題です。

県諮問機関である精神保健福祉審議会では、議論の中心は「県立精神医療センターの富谷移転」となり、今年2月の審議会では県南の包括ケアへの打撃を懸念し「富谷市移転反対」の意見が大勢を占めました。5月の審議会においては「病院整備の確実性の高い富谷市明石台において、精神医療センターの移転整備を進めたい」との県の考えが示されましたが、批判が相次ぎ、18名の委員の総意に基づき「(県の考えは)認められない」という会長の意見が出されました。

また、県精神科病院協会から「県立精神医療センターの富谷移転に対する見解」(R4.11.24)、「精神医療センターの富谷移転と合築に関わる問題点」(R4.11.24)、「県立精神医療センターの富谷移転に関する協議確認書」に対する疑問」(R5.2.27)、「県委託のコンサルタント会社の報告を受けて-外来30人の衝撃-」(R5.4.27)など、県が示す再編方針に対して反対意見や問題点の指摘があります。

以上のことから、県立精神医療センター富谷市への移転について白紙撤回を求めるものです。

以上

精神医療センター 東北労災病院
がんセンター 仙台赤十字病院

Stop! 4病院再編 連続アピール行動

村井知事が進める4病院移転再編計画の最大の問題点は、患者や働く人々などの当事者を置き去りにしていることです。さらに専門家からも多様な課題が指摘されています。

先の仙台市議会議員選挙でもこの問題が大きく取り上げられました。

そうした中、村井知事からは9月をめどに労災病院との「基本合意」を取り交わしたいとする発言も報じられています。自治体の長の仕事は何よりも住民のいのちと暮らしを守ることです。

村井知事には当事者の事情・県民の声に真摯に向き合うよう、しっかり求めていきましょう。ぜひ、アピール行動にご参加ください。

村井知事、この声が聞こえますか？

① **8/18** **仙台駅西口ペDESTリアンデッキ**
(金) 16:00~17:00

これに先立ち県に対する「要請行動」が行われます。県民に対し、この問題の大きさを訴えましょう

② **8/31** **JR 名取駅西口**
(木) 7:30~8:30

当日は県の精神医療福祉審議会が開催されます。

これに先立ち宮城県精神医療センターのある名取駅での宣伝に取り組みます。

③ **9/5** **宮城県庁前**
(火) 12:00~13:00

必要な9月県議会の開会日に当たり、県庁に向けてアピールします。

移転計画ありきの進め方には党派を超えて反対するよう、県議の皆さんにアピールしましょう!!

呼びかけ:ともに市政をつくる仙台市民の会 連絡先 080-5562-4214 新里

2023年8月10日 河北新報

県精神医療センター 移転撤回を求め 県に再び要望書 名取の市民団体

県が主導する仙台医療圏4病院の再編構想で、県立精神医療センター(名取市)と東北労災病院(仙台市青葉区)を合築して富谷市に新病院を整備する構想を巡り、名取市の市民団体「精神障害者のくらしと医療を考える仙南ネットワーク」(仙南ネット)は9日、白紙撤回を求める要望書を県に提出した。

仙南ネットが県に撤回を求める要望書を出すのは2度目。県が東北労災病院の運営主体と協議を続ける基本合意を9月にも結ぶとする報道を受け、要望した。

仙南ネットの小泉潤代表は「精神医療センターと周辺地域は患者会や作業所などの地域医療体制を66年間かけ培ってきた。富谷でゼロからつくるのは無理がある」と主張した。

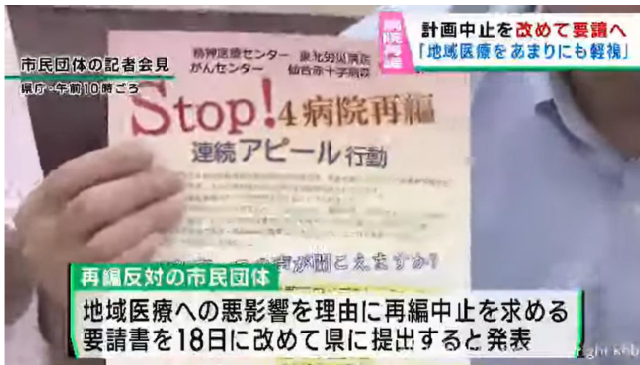
県保健福祉部の大森秀和

副部長はセンターの老朽化を移転の理由に挙げ、「包括的な受け皿づくりを富谷市と取り組む」と話した。

宮城県の4病院再編 市民団体が計画中止を改めて要請へ

<https://www.khb-tv.co.jp/news/14981815>

2023年8月15日 khb東日本放送



宮城県が進める仙台医療圏の4病院を再編する計画について、地域住民らでつくる市民団体は計画の中止を求める要請書を改めて県に提出すると明らかにしました。

県が進める仙台医療圏の4病院を再編する計画は、名取市の県立がんセンターと太白区の仙台赤十字病院を統合して名取市に、名取市の県立精神医療センターと青葉区の東北労災病院は経営主体を残したまま富谷市に集約する方針です。

15日は再編に反対する市民団体のメンバーら6人が県庁で会見を開き、地域医療へ悪影響を及ぼすとして中止を求める要請書を18日に改めて県に提出すると発表しました。

東北労災病院を守る会・島田福男代表幹事「40年から70年の長きにわたり地域に深く根差してきた医療機関の存在をあまりにも軽視するような宮城県の医療政策は断じて許すことはできません」

県は再編計画について2023年度のできるだけ早い時期に基本合意を結ぶことをめざしています。

2023年8月16日 河北新報

4病院再編 来月基本合意方針

高まる危機感 反対運動加速

市民団体

県が主導する仙台医療圏4病院の再編構想を巡り、反対する市民団体が運動に拍車をかけている。県が再編相手との協議で「9月を目途に基本合意」との方針を示していたことを受け、危機感がさらに高まった。9月上旬までに3回の街頭活動を計画しており、「多くの市民に構想の問題点を知ってほしい」と訴える。構想では、東北労災病院（仙台市青葉区）と県立精神医療センター（名取市）を合築して富谷市に、仙台赤十字病院（太白区）と県立がんセンター（名取市）を統合して名取市に、それぞれ新病院を整備する。県は東北労災の運営主体との協議で、9月にも基本合意を結ぶ考えを示していた。

市民団体の代表らは15日に県庁で記者会見した。東北労災病院を守る会の島田福男代表幹事は「地域住民や医療関係者の声を聞かずに決めるべきではない」と主張。八木山本町2丁目町内会の及川薫会長は「基本合意が成立してから押し付けてくるなら許し難い」と批判した。

守る会などは「11時が正念場」とし、18日（午後4時、JR仙台駅西口）、31日（午前7時半、JR名取駅西口）、9月5日（正午、県庁前）の3回、街頭で横断幕を掲げるなどして構想反対を訴える予定。村井嘉浩知事宛ての要請書の提出も計画している。